協調機關の無きは一の缺陷である

罷業狀態實地視察の爲め大重要命令を負ひ來幡した警保局事務官天宅敬次氏談

罷業狀態視察のため政府當局より或種の一大重要命令を負ひ來幡しその宿舍に充てたる西本町旅館ホテルには只短時間の休憩に過ぎず八幡警察署に於て視察中の警保局事務官天宅敬次氏を八日夜九時半往訪すれば面會接客に記者を迎へて謂ふ

「利々發見されました事柄の多つたのがお分りでしたし、マア私の本幡は御想像なるやうな重大使命なぎそんな重しいものではなくてスト中に就いての勉强ですヨ然そうも勉學も伴みましたから一段落を告げ教唆したといふ事実の第友會それ自体のために惜卒であつて本當に洞喝にしてしまうもの惜むものの意を永續して持久的態度を執る事は過つては居まいかと思はれます一次長が働界の實狀期なのですから其り聞記者諸君は其お考へでお聞ひ致したい長官の歸任は或理由のため御警らく遅れませう」云々

我日本 には此程の事

勞友會 が同志官職工場主妨害するため可なり威嚇迫文句を放言し拉し去れ料理にして職工を他に引立て接客を強制教唆したといふ事の第友會それ自体のために惜卒であつて本當に洞喝にしてしまうもの惜むものの意を永續して持久的態度を執る事は過つては居まいかと思はれます一次長が働界の實狀期なのですから其り聞記者諸君は其お考へでお聞ひ致したい長官の歸任は或理由のため御警らく遅れませう」云々

(八日午後十時八幡特派員)

●國家の大不祥事として片肌脱だ國粹會

微力ながら調停の勞を執らん

形勢に依り更に本部の力を借らん

(國粹會員石田度義氏談)

出來ないので先づ八幡警察署を訪問して藤警察部長及び野村署長より事件の經過を聞いた上吾々の意のある處を述べたが野村署長は自分等としては調停をこふ事に就ては今日まで何等の考へも持つて居らぬが警察として惡業の主謀者と思はるゝ者數十名を拘束し騷亂を惹起せしめざる樣警戒して居るだけであるが今日の處にては既に主謀者は拘束されてゐるので首のない胴体ばかりが動いてゐるやうなものであるから大した事はあるまいと思ふ併し

◆調停 されるに就ては一應中川製鐵所次長なり職工側の意見を聞いて見る必要があるふそれには丁度勞友會と友愛會が合同で經過報告の演說會を開くといふ居をして居るから多分開催してゐるとの思ふが職工側の幹部に逢つて見てはどうかと云ふので吾々は新町友愛會出張所に行つて幹部に面會を申し込んで聞いて勞友會並に友愛會共同の惡業報告演說を傍聽するとの夫婦喧嘩でさる仲裁者があるにこの問題に仲裁者の出でい筈はないと云ふ口吻が漏れてゐたので職工側でも

◆仲裁 を望んでゐる樣に思はれたそこで職工側の意見を聞くより先に製鐵所側の意見を聞いて見る必要があるので中川次長を訪問した次第であるが中川次長は九日の夕方まで成行を見さして貰ひたいといふ中であつたから其儘引揚た次第であるこの問題が無事一兩日に解決がつけば此上もなき幸ひであるが若し不幸にして解決がつかぬとすれば東京の國粹會本部から

◆應援 を求める考へにしてゐるそれで九日夕方更に中川次長を訪問して回答を聞く積りであるがその回答の如何事件の成り行如何によつて吾々は更に活動をする考へである吾々としては職工側が惡業などをやらず作業だけは從前の如くして置いて要求をして貰ひたかつたと思ふ惡業に依つて國家に大の損害を與へるといふ事は其だ面白からぬとであるこの今回の行動を惜んでゐた

●大吹雪の夜を三百餘の大集團

鯨波の聲を揚げ南門に殺倒す

八幡市大門町勞友會本部に報告演說後集會せる百餘名の集團は八日午後八時頃の聲を合圖に折柄の大吹雪中を同市德轟町方面より豐山公園に殺到し途中より此頃の聲を聞きて蝟集まつた群集を合して二百餘の大集團となり酒氣を帶びたる群衆は更に氣勢を上げ悲痛なる演說をなし鬨聲十數回盛なる群衆の氣勢頃に高まるや誰いふとなく

製鐵所襲撃 の聲高く同公園を發するとみるや非常の勢ひを以て製鐵所

南門に殺到 し一大鬨を上ぐるや折柄溶鑛爐原料運轉工場の人夫三十餘名退所せんとする鰐炭工場の人夫助川角之進(仮名)が群衆並に運轉人夫に對し

罷業勸誘の演說 を試みしかばさらぬだに興奮せる群衆は一齊に萬歲を高唱し將に一大事に至らんとせしが數十名の警官憲兵隊は必死となつて之れを遮ぎり

主謀者助川 その他數名を八幡警察署に拘致したれば一同何處ともなく姿を晦ましたるも八幡巷に本部へ歸へ居れる警官隊並に憲兵隊は一齊に起ち遂日の

不眠不休に疲勞 一晝夜たる未だ眠らず

(大吹雪中を警官隊と對峙せる群衆)